

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒604-8223  
 住 所 京都市中京区新町通四条上ル小結棚町429番地  
 氏 名 株式会社 ケイハン 代表取締役社長  
 西田 康郎  
 (代理人) 工場長 甲斐 和雄  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社 ケイハン		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区扇島1-1 JFEスチール(株) 東日本製鉄所京浜地区内		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	17	石油製品・石炭製品製造業
主たる事業 の内容	成型炭の製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,863	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>

## (第2面)

計 画 期 間	2019 年度 ~ 2021 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策計画

### 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

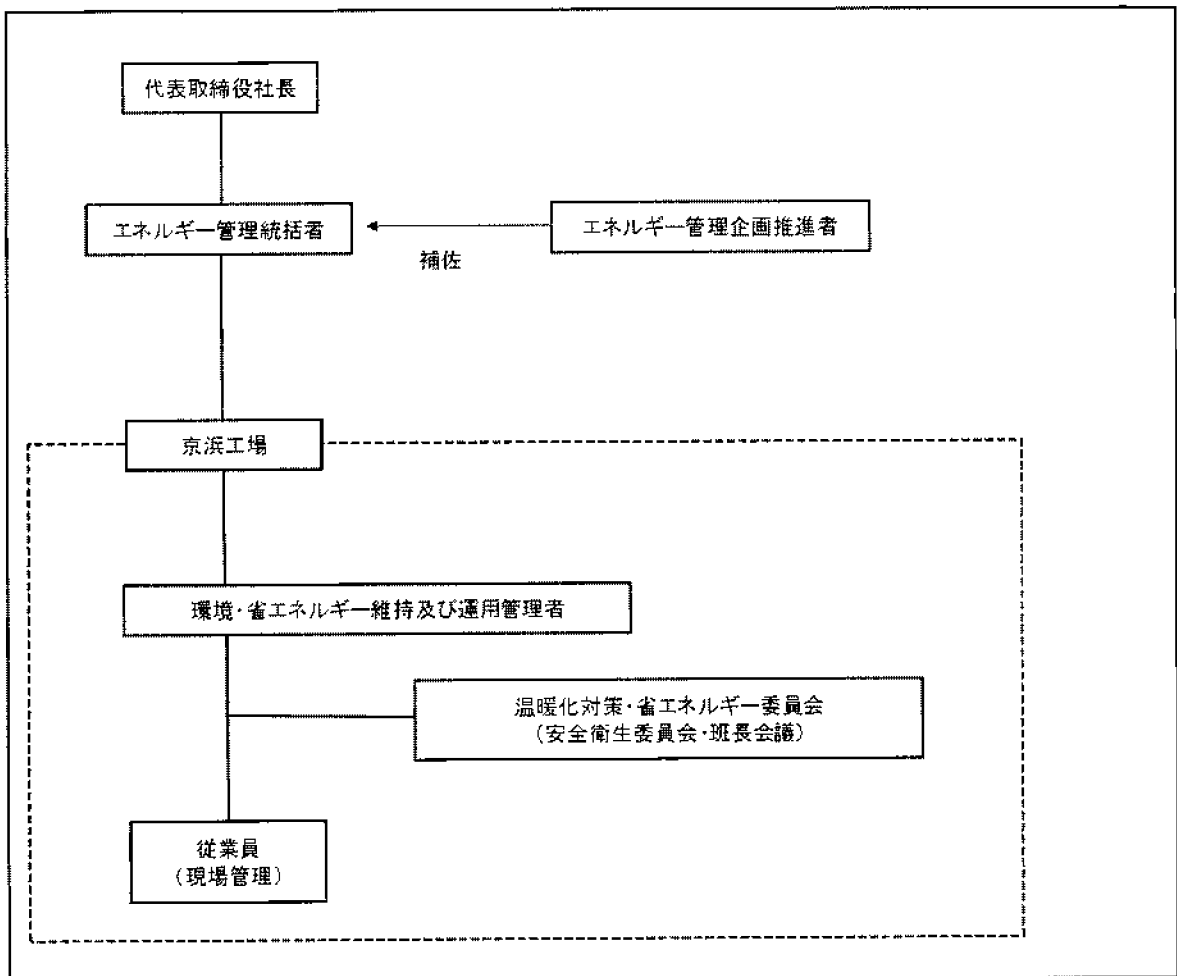
#### (1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

本社組織と工場組織の連携を図り温室効果ガス排出抑制に向けた取組みを推進する。

#### (2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（P D C A サイクル）を行うための方針

- (1) 事業活動地球温暖化対策指針にある基本対策メニューの推進に努める。
- (2) 安全衛生委員会の場で温室効果ガス排出量削減に向けたメッセージを発信し従業員の省エネ意識の向上を図る。

### 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（(実)は実排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基 準 年 度		2018				年度
目 標 年 度		2021				年度
基 準 排 出 量	(実)	7,173		(実)		
	(調)	7,173	t-CO <sub>2</sub>	(調)	t-CO <sub>2</sub>	
目 標 排 出 量	(実)	7,101		(実)		
	(調)	7,101	t-CO <sub>2</sub>	(調)	t-CO <sub>2</sub>	
削 減 量		(実)	72 t-CO <sub>2</sub>	(実)	t-CO <sub>2</sub>	
内 訳	対策実施による削減量	(実)	72 t-CO <sub>2</sub>	(実)	t-CO <sub>2</sub>	
	上記以外の削減量	(実)	0 t-CO <sub>2</sub>	(実)	t-CO <sub>2</sub>	
削 減 率		(実)	1.0 %	(実)	%	

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原 単 位 等 の 活 動 量		生産量			
原 単 位 の 単 位		t-CO <sub>2</sub> /t			
基 準 年 度 の 値		0.009134			
目 標 年 度 の 値		0.009043			
削 減 率		1.0 %		%	

ウ 目標設定に関する説明

客先からの生産量の増減要求により電力及び蒸気の使用量は大幅に変動します。  
削減率は平成30年度の1%を目標設定としました。

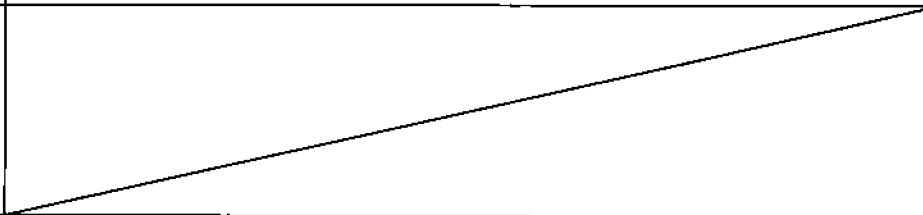
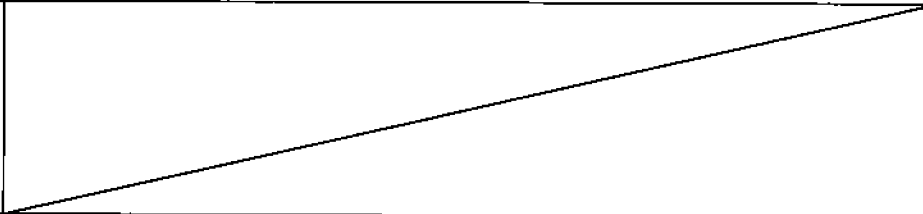
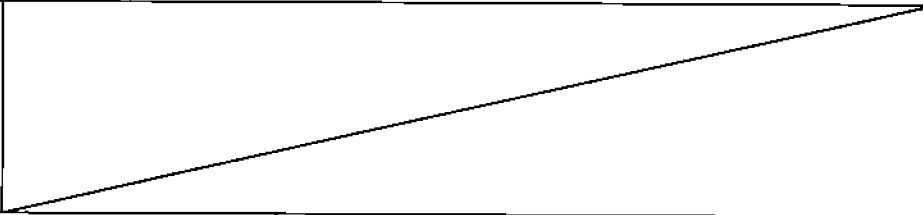
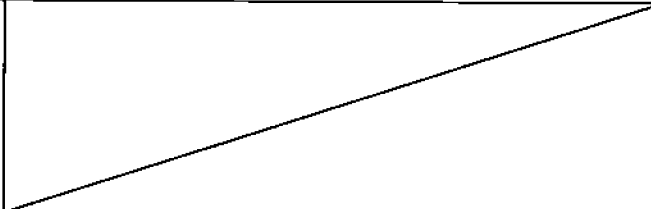
(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>(1) 品質の見える化(グラフ化)して品質管理強化と各主要設備、及びコンベアーの電流値を記録し見える化(グラフ化)することで早期異常発見し設備のメンテナンス強化し突発故障の減少により製造量の確保は今年も継続実施。                  (2) KBミキサー油ポンプの流量、圧力の管理を今年も継続実施。                  (3) 粉砕機回転数制御により、適正な粉砕後粒度の管理を継続実施。                  (4) コンベアー電動機をトップランナー型に随時交換していく。</p> <p>その他                  (5) 蒸気配管フランジ部、バルブグランド部等からの蒸気漏れ早期発見保守点検管理実施。</p>
<p>第1年度</p>	
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 冷却水ポンプのインバーター化 → 冷却物温度の基準を定めポンプ回転数変更による適正な流量管理。</li> <li>2. 製造能率(t/h)のアップ → 成型炭製造能力増強工事を実施、ミキサー原料投入量を増加させて能率向上を図る。</li> <li>3. 電動機55kwの撤去 → 生産ラインの変更に伴い55KWの電動機を撤去にして、エネルギー使用量を削減した。</li> <li>4. 工場照明の節電実施 → 照明一部LED化、人体感知装置搭載の照明を実施</li> </ol>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他( )		
その他( )		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他( )	
EV、PHV、FCV	×	その他( )	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	なし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	①、廃プラ、古紙、段ボール等分別を行い回収業者によって回収リサイクルを行う。
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出量

(実)	7,173	t-CO <sub>2</sub>
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

	2,863	K L
--	-------	-----

ウ 事業所の数

	1
--	---

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
株式会社 ケイハン 京浜工場	川崎市川崎区扇島1-1 JFEスチール(株) 東日本製鉄所京浜地区内	7,173 t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>